



トビ

野山の樹林も葉を落とし、庭や道端の草花も枯れて冬の眠りにつき始めています。山茶花は十一月・十二月に花を咲かせる数少ない植物です。常緑の葉の上に赤やピンクや白の花を多数つけるので目立ちます。「ひたむき」「困難に打ち勝つ」などの花ことは寒さの中でも健気に咲く姿から生まれたものでしょうか。

江戸時代以降、庭木として人気となり童話「たきび」の歌詞に登場するなど多くの詩歌にもうたわれてきました。

山茶花（サザンカ）



今、ふれあいの村では・・・

朝晩の冷え込みが強くなってきましたね。先日まで地肌が見えていた富士山も雪化粧が一段と濃くなりました。

◆本記事を書いている頃はリンドウが見頃を迎えています。晴れた日にだけ青紫色の花を開かる特徴があり、連なって咲くその姿に思わず足を毎回止めてしまいます。和名は「竜胆」と書き薬用としても用いられます。

◆日陰の植え込みの地面にニヨロニヨロと細長い糸のようなものが数本伸びていました。ソウメンタケです。その名の通り素麺に似ていることからこの名がつけました。毒はないそうですが無味無臭で美味しいキノコでは無い為、食用キノコとして扱われる事は殆どありません。



リンドウ



タンキリマメ



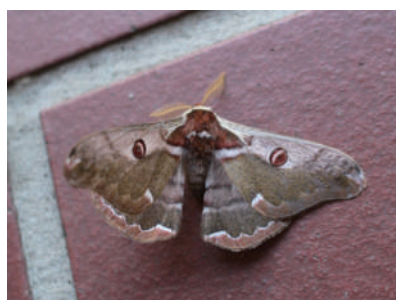
ソウメンタケ



ムカゴ



オオカマキリ



スズメガの仲間

七十二候

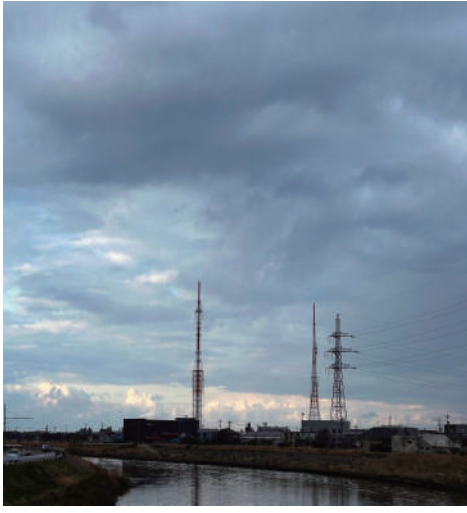
閉塞く冬と成る

十二月七日〜十一日

灰色の雪雲が空に立ち込め日差しをさえぎり今にも雪が降りそうな天気が続きます。墨を薄めたようなやや薄い灰色のことを「薄墨色（うすずみいろ）」といいます。この時期はまさにこの色のイメージです。

日が暮れるのも本当に早く「短日」は冬の日の短さ、夕暮れの早さを指す言葉です。「閉塞」とは正しく閉じて塞ぐことです。先行が見えないことや将来の見通しが立たないなど否定的な意味で使われがちです。

暗いイメージではなく、暖かい春を迎える人々を守ってくれる前向きの意味でとらえたいものです。



★フィールドワーク★

野外を探検・調査・観察することをフィールドワークといいます。



ホトギス



ツワブキ



カラスザンショウ

村内の木々の葉が落ち地面が色とりどりの落葉で埋め尽くされています。乾いた落葉を踏むとパリパリと心地よい音が辺りに響きます。

◆木立の下に小さな紫色の斑点が特徴的な花が一輪だけ咲いていました。ホトギスです。周囲には他に見当たらないので鳥が運んできたのでしょうか。

ホトギスは漢字で「杜鵑草」と書き、花卉の花が鳥のホトギスに似ていることからこの名がつけました。斑点の模様は個体によって様々です。

◆陽当たりの良い場所を散策しているとカラスザンショウを見つけました。よく観察してみると葉痕が顔のように見えます。

左の写真は笑顔のように見えますが、見え方は人それぞれ違います。

葉痕一つ一つが違った形をしているので自分好みの表情を探してみるのも面白いですよ。アカメガシワやクズなどの植物も顔のような葉痕ができるので、散策ついでに色々な植物の顔を探してみても如何でしょうか。

【イベントのご紹介】

※お問合せは、足柄ふれあいの村に電話（0465-72-2010）されるか、『足柄ふれあいの村』のホームページにアクセスしてください。

※今後、変更等がある可能性がありますので『足柄ふれあいの村』のホームページを随時ご確認ください。

「Mori・キッチン④」のご案内

ふれあいの村近辺の畑で丹精込めて育てた旬の野菜を収穫し、採れたての野菜を使って野外炊事をします。

家族・親子で野菜と自然を満喫しましょう！

実施日) 令和7年2月1日(土)【日帰り】

会場) 足柄ふれあいの村

対象) 家族・親子

定員) 35人

参加費) 中学生以上:1,800円/3歳以上~小学生:1,400円

申込期間) 令和6年12月5日(木)~令和7年1月5日(日)

★来月のファミリーコミュニケーションの日:1月12日(日)

10:00~12:00《自然観察会》冬の森でバードウォッチング(参加費無料)

13:00~15:00《チョーク絵》十二支から好きなものを描いてみよう(参加者無料)

※ファミリーコミュニケーション運動の一環として、毎月、第一日曜日に開催中です。※申込み・問合せは電話などでお気軽にどうぞ。

神奈川県立足柄ふれあいの村(南足柄市広町1507)

電話:0465-72-2010 FAX:0465-72-2013

指定管理者:株式会社アグサ(連携協力:関東学院大学)

所管課:神奈川県教育委員会教育局支援部
子ども教育支援課

URL: <http://www.ashigara-fureai.com/>